

# いつもどおりに培養しながら 1~3リットル大型三角フラスコを 非接触でOD9.9\*まで広範囲測定 しかもIPTGの自動添加にも対応

※デザインおよび仕様は変更する場合があります。  
※使用にあたっては大型三角フラスコが振とう培養可能な  
恒温振とう培養機が別途必要です。

12月  
発売予定

コントロールボックス ODBox-B ¥200,000  
センサーユニット ODSensor-L ¥85,000  
自動ポンプユニット ¥120,000



大型三角フラスコ対応  
旋回振とう培養用非接触濁度計

## OD-Monitor B&L

- 大腸菌によるタンパク質生産におけるIPTGインダクションのばら付きを軽減し再現性の高い実験が可能になります。
- 大量培養前のシードカルチャーのパリテーションに使用できます。
- OD-Monitorは950nmの波長を用いて測定していますので、藻類などの600nm付近に吸収波長がある生物に対して影響を与える事無く測定が可能です。
- タンパク質発現に良く使用される大腸菌以外にも、酵母・枯草菌などが測定可能です。

### 自動ポンプユニット(オプション)でIPTGの自動添加ができる

タンパク質発現実験の際のIPTGなどの試薬添加をオプションの自動ポンプユニットと組み合わせる事により、自動化を実現します。

※写真は自動ポンプユニットでフラスコ内に試薬を投入しているところ



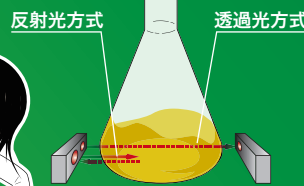
自動ポンプユニット

### 広い測定範囲の秘密はハイブリッド赤外光測定方式

分光光度計で採用されている低濃度に強い透過光方式と水質検査などに採用されている高濃度に強い反射光方式を併用してOD9.9という広い測定範囲を実現しています。

※性能保証はOD7.0までです

OD-Monitorはタイテックオリジナルの製品です。



本製品はODBox-BとODSensor-Lの組合わせです

#### コントロールボックス ODBox-B 仕様

測定波長	950nmでの値をOD600に換算
同時測定数	4ch
測定濁度範囲	OD 0.1~9.9
測定精度保証範囲(*)	OD 0.3~7.0
振とう方式	旋回振とう
振とう速度	100・120・150・160・180・200・240・250r/min
振幅	25・50mm
測定間隔	1・5・10・30・60・120・240min
データ書き出し	CSVファイルをUSBフラッシュメモリへ
データ通信	USBケーブルを介しPCの専用プログラムと
外形寸法	153×220×127Hmm

#### センサーユニット ODSensor-L 仕様

測定波長	950nm
測定可能フラスコ	ガラス製三角フラスコ
対応するフラスコサイズ	1000・2000・3000ml
発光素子	赤外LED×1
測定方式	透過光・反射光同時測定方式
LAN端子	ODBoxとの接続用×1
外形寸法	196×250×50Hmm

タイテック株式会社

本社/テクニカルセンター 〒343-0822 埼玉県越谷市西方2693-1  
TEL: 048-988-8361 FAX: 048-988-8363 E-mail: senden@taitec.org